

京都洛柿庵からのシーズン報

# らくしあんたいむず

2019 初夏号

★  
今期一押し!  
★

## 初夏の新作

★  
手染めの質感を楽しむのれん  
★

✓ Pick Up



N-290 手描きのれん「山法師」

生成りの麻の素朴な風合いを生かしながら、凛とした竹まいの山法師を手描きで表現。

らくしあん 豆蔻ちしき

山法師 やまぼうし

奥ゆかしい花

花は6月頃に見頃を迎えます。白くて綺麗な花が咲く、と思いがちですが、実はちょっと違います。花びらのように見えるのは「総苞」と呼ばれるもので、本当の花はその総苞の中心にある、緑色の粒が密生した部分なのだそう。

古風な名の由来

平安時代、延暦寺の僧兵を「山法師」と呼びました。中央の丸い花穂を僧兵の坊主頭に、4枚の白い総苞を白頭巾に見立てて山法師と名付けられたそうです。

京都洛柿庵工房

《手描きの風景》



1

まずは花(総苞)から描き始めます。白の濃淡で柔らかい質感や厚みを表現することで、手描きならではの優しい雰囲気が生まれます。

2

次は水を多く含む顔料で滲みを出し、葉を描きます。花との境は、白色を引き立てるため、滲ませずに描きます。絵を引き締め、空間を作り出すための重要な役割をもつ枝と葉脈を、慎重に丁寧に一筆で描いていきます。



3

最後の仕上げは中央にある花穂の部分。濃い目に溶いた顔料を、綺麗に整えた筆先で、一粒一粒描きます。少し盛り上げて描いた花穂の粒が、面白い表情を加えています。







# 端午の節句

## 《名入れタペストリー》

# 人気ランキング 10

京都洛柿庵 2018年度調べ

端午の節句のお祝いのほか、命名式、出産祝いなどのご贈答として京都洛柿庵がおすすめしている名入れ加工。

中でも、お部屋のインテリアとしても日々お使いいただける、タペストリーの名入れは、毎年大変ご好評いただいております。

そこで2018年度に、名入れオプションをご希望いただいたタペストリーを、売り上げランキング順にご紹介いたします。名入れをご検討中のお客様へのご提案に、または端午の節句のおすすめ商品として、ご参考になりましたら幸いです。



各写真は実商品に文字を入れたものではなく、任意に選んだ名前をへめ込んだ合成写真です。名入れの仕上がりイメージとしてご覧ください。

1



T-376 「若武者」

キリリとした若武者の表情、手描きの大きな鯉のぼり、どちらも愛嬌満点！

文字フォント：祥南行書体

2



T-255 「恋鯉」

一味違う、手描きの趣が好評。文字も収まりよく配置しやすい。

文字フォント：<sup>ころもん</sup>衡山毛筆フォント 行書OTF

3



RJT-001 「兜」

ろうけつ染めの粋なデザイン。濃紺の染めには白、または金色での名入れが人気です。

文字フォント：祥南行書体

4



RJT-012 「こいのぼり」

文字フォント：有澤楷書

5



T-681 「陣太鼓」

文字フォント：HG行書体

7



Ts-526 「かぶと」

8



Ts-525 「登竜門」

9



Ts-259 「こいのぼり」

10



Ts-014 「YOROI」

⑦～⑩ 文字フォント：祥南行書体



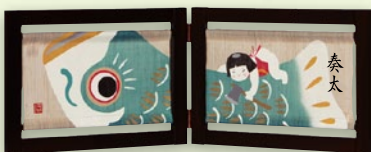
新作も！

可愛いデザインで登場した今期の新作も、名入れ商品としておすすめですよ。ぜひご検討ください。



Ts-713 細タペストリー 「節句つるし飾り」

文字フォント：麗流隷書



Z-185 「節句鯉」 文字フォント：有澤楷書

名入れのご相談・お見積りは弊社までお問い合わせください。